

海側遮水壁閉合前後の海水モニタリング状況

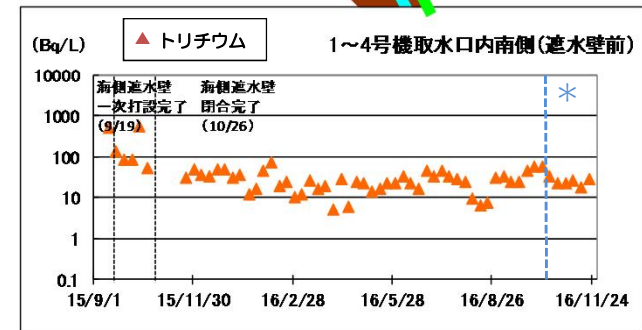
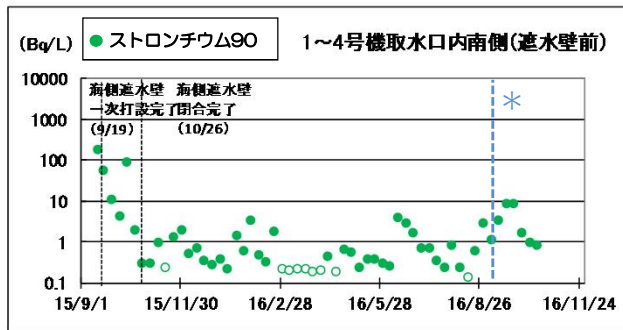
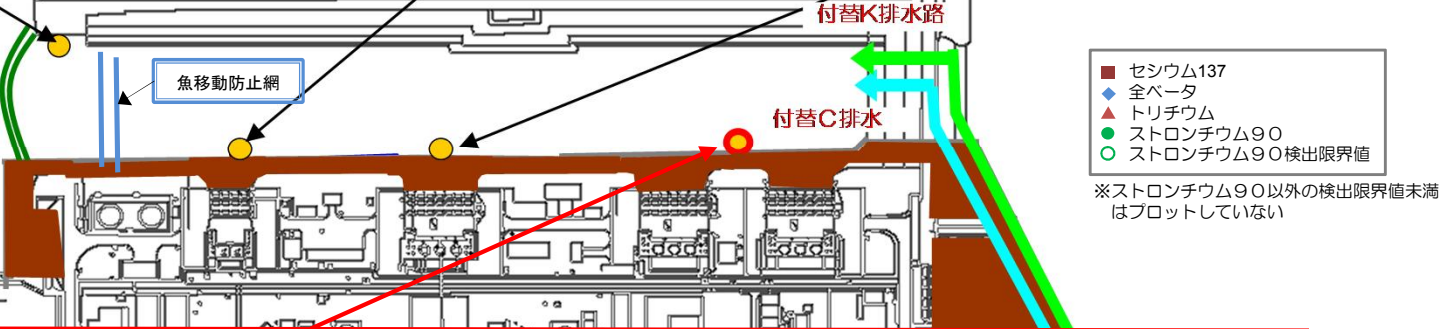
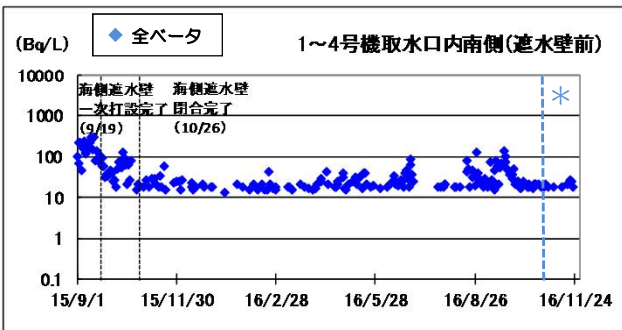
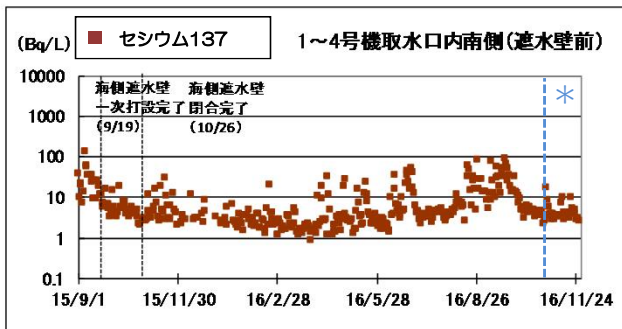
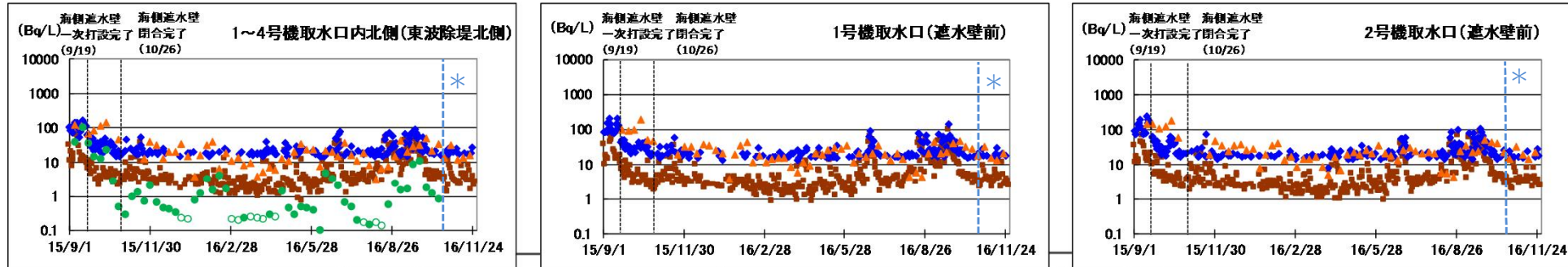
TEPCO

2016年12月 7日
東京電力ホールディングス株式会社

【1～4号機取水口開渠内】 海水サンプリング結果

■海側遮水壁閉合以降、放射性物質濃度は低下しているが、降雨時に一時的な上昇が見られる。

【告示濃度】セシウム137:90Bq/L, ストロンチウム90:30Bq/L, トリチウム:60000Bq/L



※1～4号機取水口内南側（遮水壁前）は、最後に遮水壁閉合を実施した箇所。
海水のサンプリング地点としては、閉合完了まで、地下水の影響を最も受けていた箇所。

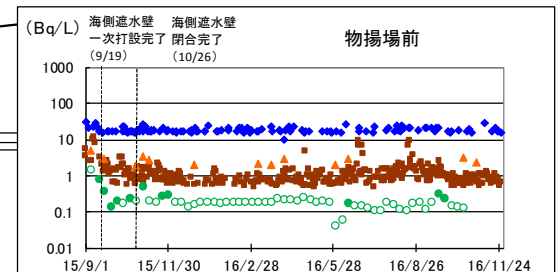
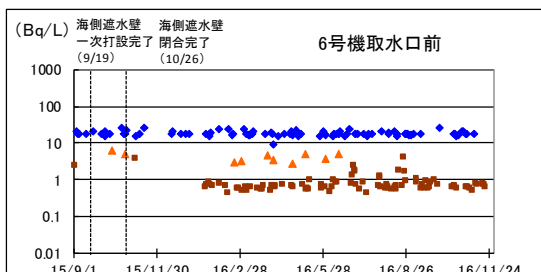
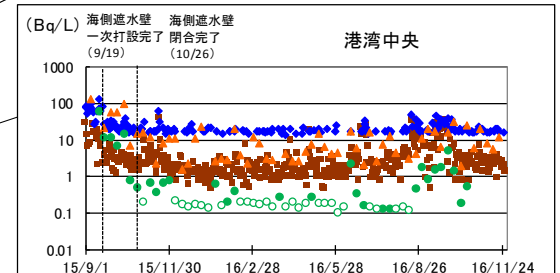
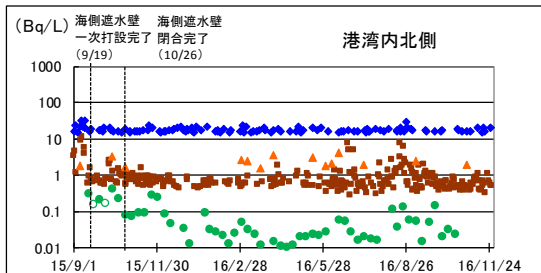
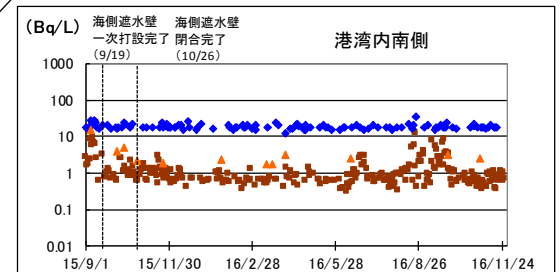
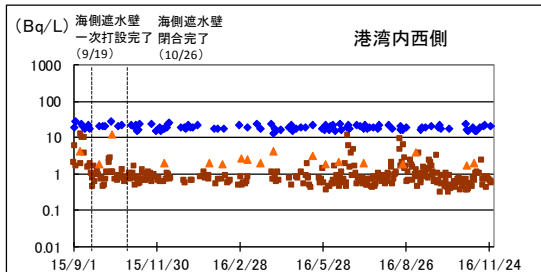
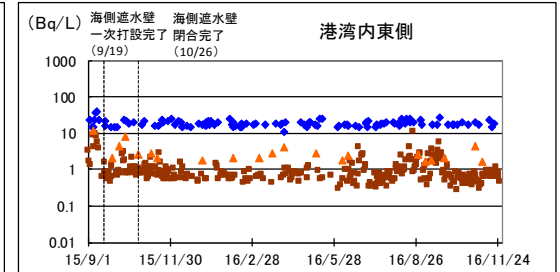
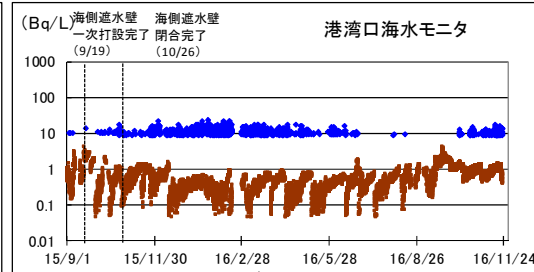
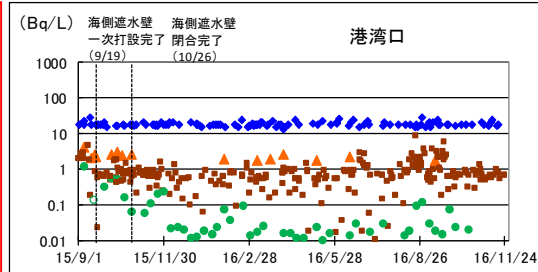
*青縦点線：前回までの報告分
(赤枠以外の箇所はセシウム137, 全ベータの前回までの報告分)

【港湾内】 海水サンプリング結果

■ 海側遮水壁閉合後、港湾内の1～4号機取水口開渠の外側では、海水中の放射性物質濃度が低下し、その後は低い濃度が継続。

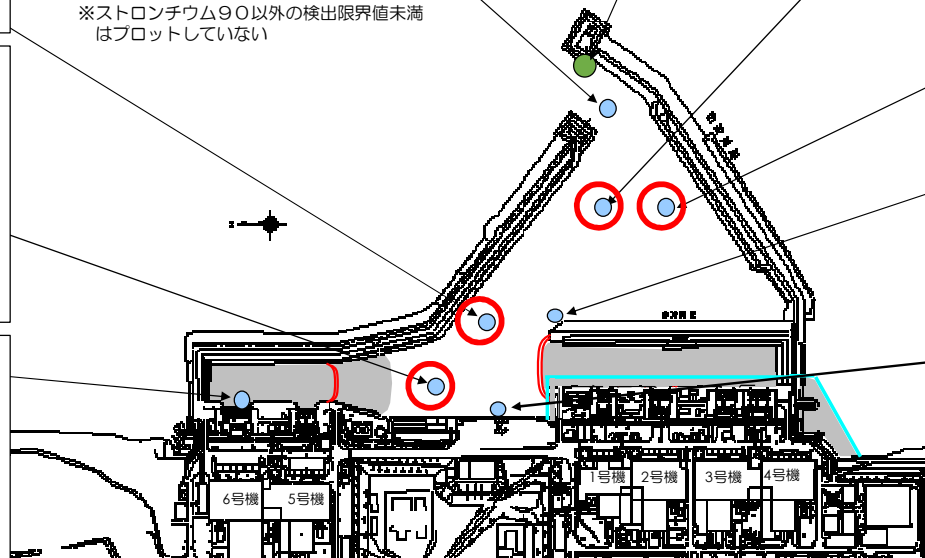
◆ 港湾口に設置した海水放射線モニタが当社ホームページでリアルタイムで見られるようになりました。
9/30より公開しています。

※ 当社ホームページ（毎日更新）
トップ> 福島への責任> 廃炉プロジェクト
> データ集> 発電所付近での海水放射線モニタ計測状況



- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- ストロンチウム90検出限界値

※ ストロンチウム90以外の検出限界値未滿はプロットしていない



※ セシウム137の検出限界値：「港湾口海水モニタ」は0.05Bq/L程度、その他の採取点では0.7Bq/L程度に設定
(○の4地点については、6月1日より検出限界値を0.4Bq/L程度に設定)

地下水ドレン水位と港湾内海水中放射性物質濃度の推移

➤ 海側遮水壁閉合前後における地下水ドレン水位と、1～4号機取水路開渠内南側（遮水壁前）海水中放射性物質濃度の推移は下記の通り。

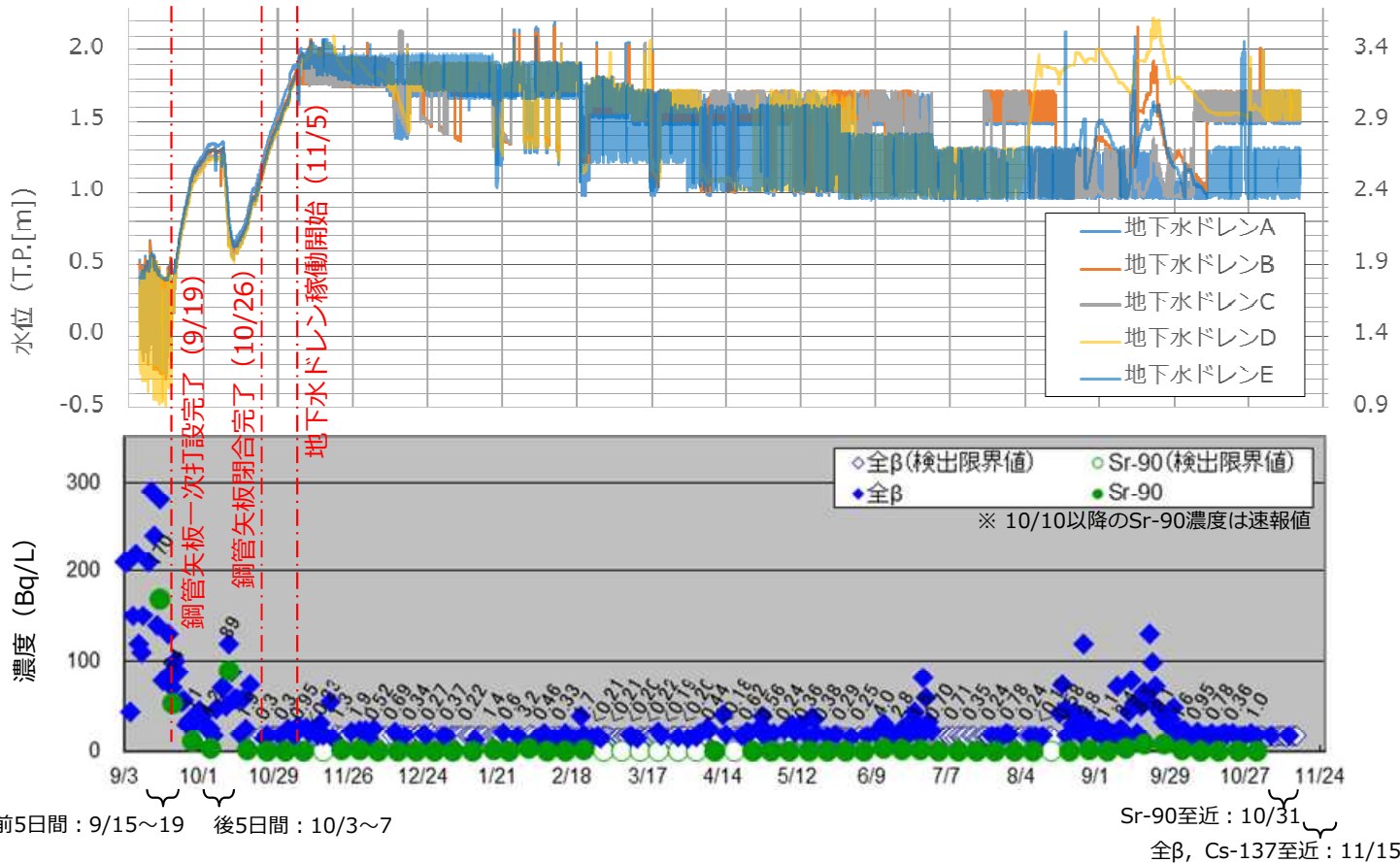


図 地下水ドレン水位と1～4号機取水路開渠内南側（遮水壁前）海水中放射性物質濃度の推移

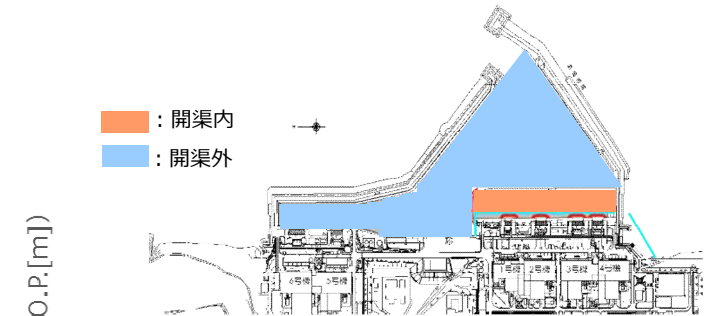


表 1～4号機取水口開渠内及び開渠外の測定地点における海水中放射性物質濃度平均値 (Bq/L)

		前5日間 平均値 ^{※1}	後5日間 平均値 ^{※2}	至近 平均値 ^{※3}
全β	開渠内	150	26	20
	開渠外	27	16	17
Sr-90	開渠内	140	8.6	1.0
	開渠外	16	2.1	0.42
Cs-137	開渠内	16	3.8	3.7
	開渠外	2.7	1.1	0.78
H-3	開渠内	220	110	18
	開渠外	1.9	9.4	2.6

※1 H-3については、前5日間のデータがないため、前10日間の平均値

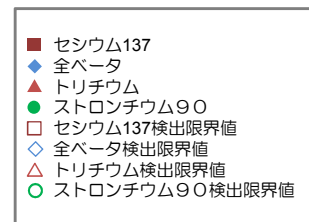
※2 後5日間は、地下水ドレン水位が一定及び降雨がない期間を選定

※3 全βとCs-137は11/14、Sr-90開渠内(速報値)は10/31、Sr-90開渠外は10/3、H-3は11/7に採取した各地点の平均値

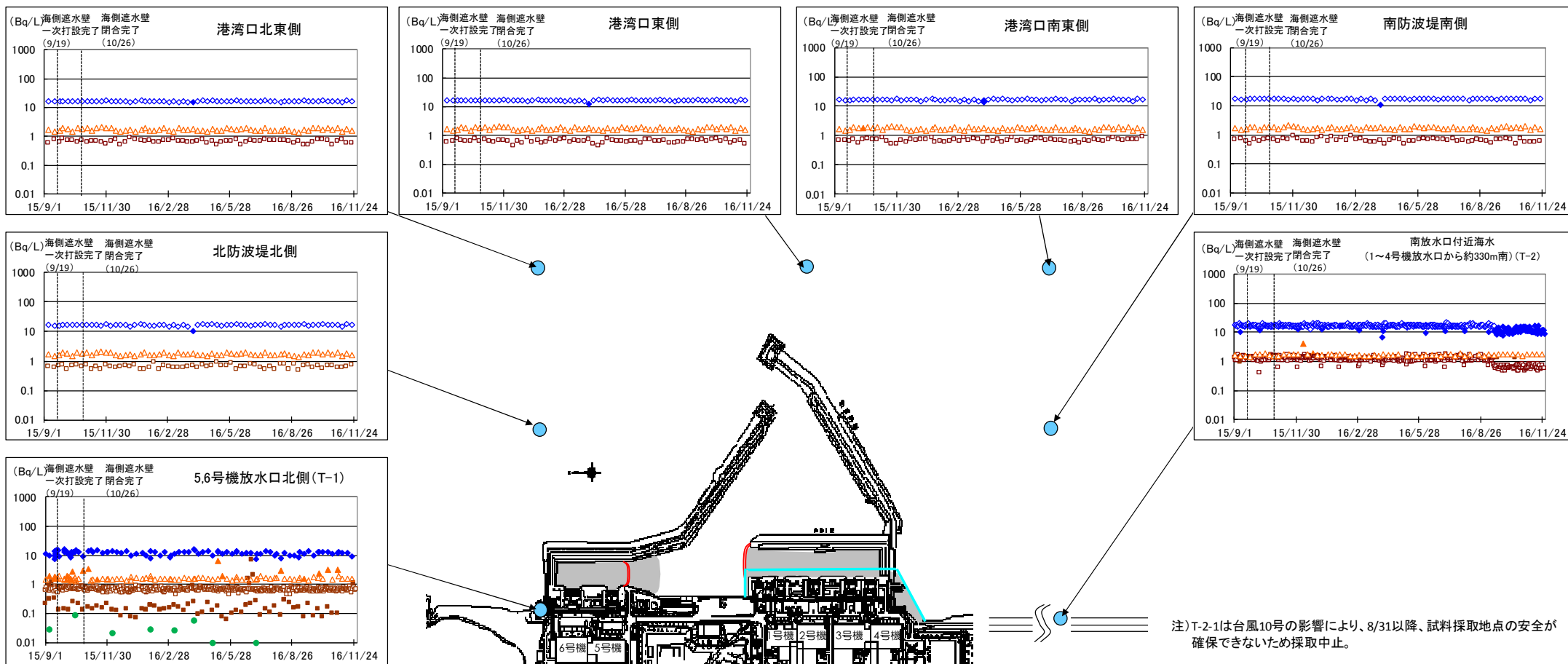
- 鋼管矢板打設により地下水ドレン水位が上昇し、海水中の全ベータ、ストロンチウム、セシウム、トリチウムも低い濃度で推移していることから、海側遮水壁の効果は発揮されている。
- 今後もモニタリングを継続する。

【港湾外（周辺）】 海水サンプリング結果

■ 港湾外の各採取点は、従来より低濃度であり、ほとんどが検出限界未満を継続。



※白抜きは検出限界値未満を示す



注) 15/11/2, 16/1/4, 6/6, 8/1以降のSr-90は、0.01Bq/L未満のためプロットされていない。

※海域における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム（十数Bq/L）の影響を受けているものと考えられる。

※5,6号機放水口北側（T-1）、9/13～南放水口約330m南（T-2）のセシウム137については、週1回の頻度で詳細分析を実施。

【5, 6号機放水口北側】 海水サンプリング結果

2012年6月以降、詳細分析結果をプロット

福島第一 5,6号機放水口北側 海水セシウム濃度

(ベクレル/リットル)

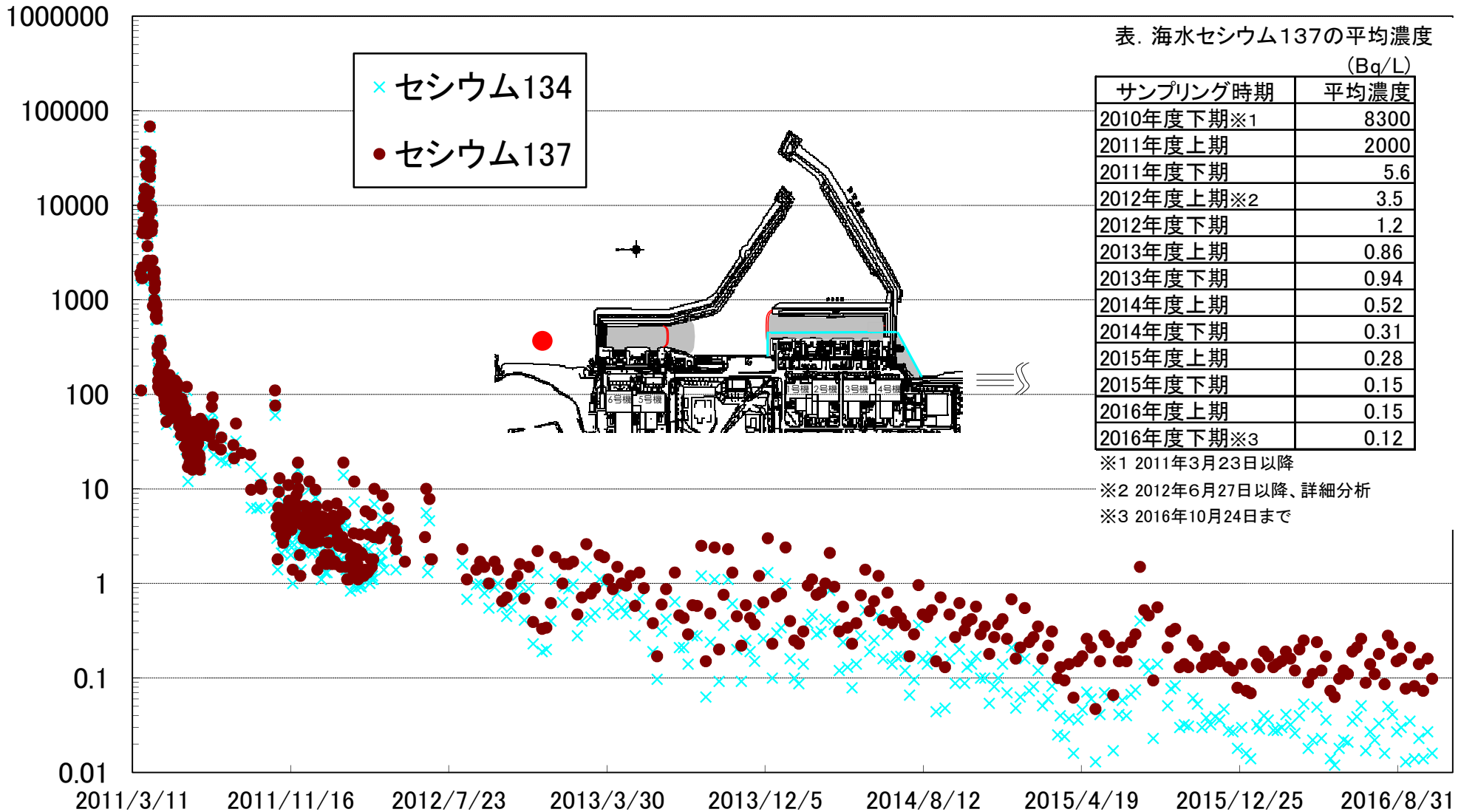


表. 海水セシウム137の平均濃度 (Bq/L)

サンプリング時期	平均濃度
2010年度下期※1	8300
2011年度上期	2000
2011年度下期	5.6
2012年度上期※2	3.5
2012年度下期	1.2
2013年度上期	0.86
2013年度下期	0.94
2014年度上期	0.52
2014年度下期	0.31
2015年度上期	0.28
2015年度下期	0.15
2016年度上期	0.15
2016年度下期※3	0.12

※1 2011年3月23日以降

※2 2012年6月27日以降、詳細分析

※3 2016年10月24日まで

【南放水口付近】 海水サンプリング結果

2012年6月以降、詳細分析結果をプロット

福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度

(ベクレル/リットル)

